

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-	
		百貨店（営業企画）	・3月に改装を行い、雑貨売場の強化を図るため、来客数の伸びが期待できる。また、東日本大震災から1年経過となることで、一時の消費低迷からの回復を期待したい。	
		スーパー（企画担当）	・東日本大震災から一巡し、商品の供給体制も安定しており、今後3か月は景気が良くなる見込みである。	
		コンビニ（経営者）	・近隣のホテルで観光客が増えるとの情報があり、期待している。	
		コンビニ（経営者）	・前年は東日本大震災により、3月中旬から主力商品の受注ができなかったが、今年は問題無いとみる。	
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・今月に関しては前年並みの稼働率を見込んでいるものの、今後2、3か月先に関しては前年実績を上回る見込みである。格安航空会社の進出や、今年は沖縄本土復帰40周年でもあり、この先は上向き傾向にあると見込んでいる。	
		通信会社（店長）	・卒業、入学シーズンにスマートフォンの購入が増えると思込まれる。また、家族も同時にスマートフォンへの買換えをすると予想されるので、プロモーションの後押しもあり今年の春商戦は期待が持てる。	
		観光名所（職員）	・東日本大震災があった前年より悪くはならない。予約状況も良い。	
		その他のサービス[レンタカー]（営業担当）	・前年は東日本大震災があり、震災直後から予約のキャンセルが相次いだことから、前年よりは利用者は増えるものと見込んでいる。	
住宅販売会社（総務・企画分野）	・年度末に向けて、今後、競合他社も含め、見学会等のイベント開催による集客活動を強化することが考えられ、その効果が2、3か月後に現れると期待できる。商談内容によるが、事業活動上は上記のように良い要因があるので、やや良くなる。			
変わらない	スーパー（販売企画担当）	・不況といわれるなか、同業者との競争はますます激化し、また異業種との競争も激しくなっており将来も大変厳しいと予想される。		
		コンビニ（エリア担当）	・相次ぐ競合店の開店セールにより、客を奪われている。自社でも特売を掛けて、単価のアップを図るが、実際は特売品の購入だけにとどまることが多い。お得だから、もう一品多く買うという意欲がまだまだ乏しい。結果、売上は同じでも利益が減り、このままだと増収減益傾向になっていく。	
		コンビニ（エリア担当）	・東日本大震災の影響もほとんど無くなり、県経済は落ち着いている。基地問題は残るが、観光客も伸張しており、県経済は現状通り推移すると判断する。	
		衣料品専門店（経営者）	・現状では街にあまり人が出ていない。目的買い以外の客も少ないようである。セール商品にも、新シーズンの商品にもあまり関心を示してもらえていない状況で、この先もあまり変化が無いようにみられる。	
		家電量販店（総務担当）	・地上デジタル放送への切替えと家電エコポイント制度の反動が続く。特に地上デジタル放送への切替えの反動は7月まで続く。	
		ゴルフ場（経営者）	・良くなったり、悪くなったりで先が読めない。	
		住宅販売会社（代表取締役）	・景気の先行きが不透明である。	
やや悪くなる	その他専門店[楽器]（経営者）	・中国人観光客が目抜き通りや市場に増えているが飲食だけで、商品を購入することは無く、通訳の同行も見られない。中国人観光客への地元情報のPRが不足しているままでは、良くならない。		
		悪くなる	商店街（代表者）	・消費単価が伸び悩み、今後、どこが底なのか分からない。
			その他専門店[書籍]（店長）	・客単価の減少傾向は今年に入って一層悪化している。この先の展開としては新学期、就職と売上の増加を見込める月にはなるが、前年比を上回ることはないと予想する。景気の回復からは程遠い。
その他飲食[居酒屋]（経営者）	・地元客からは外食に出る余力が無くなっているとの声を聞く。ここにきて本土のフランチャイズ店の出店が相次いでおり、競争の激化は避けられない。			
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-	
		建設業（経営者）	・引き合い件数が増加し、先行きは良くなる。	
		輸送業（営業担当）	・一括交付金による様々な分野での需要増へ期待したい。	
		通信業（営業担当）	・プロジェクトチームはすべて稼働しており、開発要員も全員稼働している現状から、今後は受注額の高い仕事の確保にシフトしていくことが予想される。	
変わらない	食料品製造業（管理部門）	・実施している競合他社との競争激化対応策の効果が継続する。		

		窯業・土石製品製造業（経営者）	・公共工事は年度末に向けやや増、民間工事は横ばいか減少と予測している。全体で横ばいの見通しである。
		コピーサービス業（営業担当）	・東日本大震災の影響がまだ続いているので、それが回復しない限りそれほど変わらないとみる。
	やや悪くなる	輸送業（代表者）	・宮古だけは依然好調であるが、全体的には下降気味である。天候不良や燃料高騰が大きく影響してくるとみる。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（総務担当）	・県外に拠点を置く企業が、本社機能の一部または半分程の業務を、本格的に県内に拠点を移してきており、それに伴う職業紹介、紹介予定派遣や通常の派遣の需要が見込める。
		職業安定所（職員）	・このところの求職者数の減少、求人数の増加傾向から、先行きは良くなる。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・県内企業から求人予定の話がある。合同企業説明会も活発に行われており、採用数増加に期待したい。
	変わらない	-	-
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	-	-